



# Uアンダー50



平成27年青少年指導員中央ブロック研修  
×  
第20回なにわ区ラボ  
『街の若手で地元を語る会』U(アンダー)50

2015年11月23日(月祝) 14:00～16:00 会場：大阪市立日本橋小学校 講堂 開催

青少年指導員中央ブロック研修 × 第20回なにわ区ラボ、街の若手で地元を語る会「U50～地域デビューのすすめ」を開催。中央ブロック4区(浪速・西・中央・天王寺)を中心に、60名を超える方に参加いただきました。まずは「じゃんけんゲーム」で席替えシャッフル！各区がばらばらになったところで、テーブルごとのアイデア会議。「これなら入る！勧誘トーク」「できそう！パワーアップ校下事業提案」「地域デビューの入り口(場)づくり」の3テーマに分かれ、各テーブルごとにそれぞれの工夫や知恵、お困りごと、解決方法など語り合いました。



## パワーアップ！校下事業

### ①他団体と協力したケース

他団体と協力したことで、活動に広がり人とつながりができて幅がふえた。  
→つながり広がった反面、雑用が増えた・・・。地活協も。

### ②ツテを使って労力削減な、新規事業

- ・地域にある業界団体とコラボ。  
→小学校総合学習で工具教室を開催。企業従業員が先生役、景品も。企業・地域・学校・子ども、みんな喜ぶ。
- ・友人の活動する団体ツアーに参加  
→「外来魚駆除の釣りイベント。団体の既存イベントに申し込むだけ。

### ③小学校をうまく利用する

校庭キャンプで学校シャワー、廊下・教室使ってお化け屋敷、花火  
小学校に迷惑掛けないようPTAで責任を持つ(保険・届出・クレーム)。

### ④今ある事業でできること

親子で参加できる仕掛けあるイベントで、親と顔見知りになっておく。  
盛り上がる行事など声かけやすい仕掛けは、やはり必要  
→「工夫すればいいのに」と思っても、声に出し実現するのが難しい。



## なかまを増やそう

### □トークで

「ちょっと手伝って」  
「道具貸して」「次、俺のん貸すわ」  
「ご飯行こう」  
「まあ、飲みにいこうや」  
「参加できるときだけでいいから」  
「こないだ来てましたよね？」と声かけする。

- ・2～3年かけて、ちょこちょこ誘う
- ・カッコいいTシャツで形から
- ・役員から「名前書いといて」

### □入り口作ろう

- ・地元の人グループ、入りにくい
- ・手伝うのはOKでも、入ることは拒まれる
- ・「地域」はNGワード。苦手な人も
- ・「初参加者を迎えるキーマン」必要。
- ・いつでもどこでも電話番号を聞いて、あとから電話かける。
- ・顔見知り「決めうち」で声かけ
- ・ユースリーダーやまずはPTAでしょ。
- ・「まつり」「マラソン」…人の集まる時に興味のあるものでひっぱり。
- ・ラスト2～3年はフォロー役に回る。定年最後までやりきらない。

### □その他

- ・マンションは子ども介してPTA経由、団地・戸建ては、町会経由で地域活動も関わるイメージ。
- ・マンションが子ども会に加入しているとお知らせが来て、参加しやすくなる。
- ・青指に呼んでもらって嬉しかった。
- ・広報大事。
- ・粗品つきも有効。もらい逃げは気にしない。

### □そもそも

「子どものために頑張れる仕事」  
「地域、大事！」  
  
言葉より「雰囲気」。  
楽しいところを見てもらって、数珠つなぎ式に。

西区・天王寺区・中央区まちづくりセンターにはテーブルでの意見交換の取りまとめをご協力いただき、あちこちから笑い声が聞こえるにぎやかな会となりました。  
ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！